

能力向上教育に関する衛生管理者へのアンケート
 衛生管理者免許を有している本人がご記入をお願いします。

令和元年6月
 全国衛生管理者協議会

事業場名			
所在地			
回答者	所属:	役職:	氏名(省略可):
TEL		メールアドレス	

記入上の注意事項: 回答時時点での状況をお答えください。

			回答日 :	回答	
No	項目	No	質問内容	選択肢	
I	企業・事業場について	1	貴社全体の労働者数(本社、支店、工場等を合わせた人数)	①50人未満 ②50~99人 ③100~299人 ④300~499人 ⑤500~999人 ⑥1000人以上	
		2	貴事業場の労働者数	①50人未満 ②50~199人 ③200~499人 ④500~999人 ⑤1000~1999人 ⑥2000~2999人 ⑦3000人以上	
		3	貴事業場の業種	①農林畜水産業 ②鉱業 ③建設業 ④製造業 ⑤電気業 ⑥ガス業 ⑦水道業 ⑧熱供給業 ⑨運送業 ⑩自動車整備業 ⑪機械修理業 ⑫医療業 ⑬清掃業 ⑭その他の業種	
II	回答者個人属性について	1	年齢層	①20歳未満 ②20~29歳 ③30~39歳 ④40~49歳 ⑤50~59歳 ⑥60歳以上	
		2	性別	①男性 ②女性 ③その他	
		3	衛生管理者/衛生工学衛生管理者	①第1種衛生管理者 ②第2種衛生管理者 ③衛生工学衛生管理者	
		4	選任状況	①衛生管理者 ②(安全)衛生推進者 ③未選任(資格のみ)	
		5	専任、兼職の別	①ほとんど衛生管理の業務を行っている ②他の業務と衛生管理の業務を兼務している ③ほとんど業務は行っていない	
		6	衛生管理者経験年数(実際の業務に係わってからの経験年数)	①5年未満 ②5~10年 ③11~20年 ④20~30年 ⑤31年以上	
III		1	能力向上教育は、労働安全衛生法第19条の2に基づき努力義務になっていること	①知っている ②今、知った	
		上記の1で「①知っている」と回答された方は、下の2以降の設問にお答えください。2で「②今、知った」と回答された方は、「IV能力向上教育に対する考えについて」に進んでください。			

III	衛生管理者能力向上教育に関する実態について	2	能力向上教育の受講経験の有無	①有 ②無		
			能力向上教育の受講経験の「①有」の場合	受講頻度	①定期的に受講 ②1回のみ (何年ごとに受講していますか? 年) (衛生管理者の業務に係わってから何年目で受講しましたか? 年目)	
				受講動機	①業務指示 ②自発的に ③その他()	
				教育の実施主体	①社内 ②社外(実施主体:)	
				講習時間	①半日 ②1日 ③1日半 ④2日(法令規定時間数) ⑤不明	
				講習は有益でしたか?	①有益であった ②有益でなかった (その理由:) ③判断できない(分からない)	
	業務に活かせる内容でしたか?	①活かせる ②活かさない (その理由:)				
	3	能力向上教育の受講経験の「②無」の場合	受講していない理由は何ですか?	①時間が取れなかった ②受講機会(場の設定)がなかった ③受講費用が確保できなかった ④上司の許可が得られなかった ⑤内容に魅力がなかった ⑥その他()		
			条件が整えば受講したいですか?	①是非受講したい ②受講したい ③受講したいとは思わない		
	IV	能力向上教育に対する考えについて	1	能力向上教育は必要だと考えますか(有効な施策と考えますか)?	①必要と考える (その理由:) ②必要と考えない (その理由:)	
2			能力向上教育を浸透させるために工夫すべき点がありますか?(複数回答可)	①カリキュラムの工夫 ②講習時間の短縮 ③講習時間の分割(連続した2日ではなく、分割する) ④受講の義務化 ⑤その他()		
3			カリキュラム及び講習時間についてあなたのお考えをお聞かせください	~自由にご記入ください~		

V		以下の第13次労働災害防止計画(13次防)の中で示されている労働衛生課題に対して、衛生管理者として業務を遂行される中での現状をお聞かせください。 (13次防については、以下のURLをご参照ください) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuit+C29e/bunya/0000197308.html		
13次防で示されている労働衛生課題		A: 事業場内で取り組む際の優先順位(目安を下に示します) 高: 事業場内で取り組むべき重要性を感じている 中: 事業場内で重要と感じているが判断がついていない 低: 事業場内でほとんど重要性を感じていない B: 衛生管理者としてのあなたの関わり度合(目安を下に示します) 高: 主担当で関わっている 中: 主担当ではないが、主担当部門と共同で取り組んでいる 低: 事業場内ではほとんど関与していない	A への 回答	B への 回答
1	産業医・産業保健機能の強化	①高 ②中 ③低 ④分からない		
2	過重労働による健康障害防止対策	①高 ②中 ③低 ④分からない		
3	メンタルヘルス不調の予防	①高 ②中 ③低 ④分からない		
4	パワーハラスメント対策の推進	①高 ②中 ③低 ④分からない		
5	副業・兼業、テレワークへの対応	①高 ②中 ③低 ④分からない		
6	過労死の防止対策	①高 ②中 ③低 ④分からない		
7	腰痛の予防	①高 ②中 ③低 ④分からない		
8	熱中症の予防	①高 ②中 ③低 ④分からない		
9	高年齢労働者対策	①高 ②中 ③低 ④分からない		
10	非正規雇用労働者対策	①高 ②中 ③低 ④分からない		
11	外国人労働者、技能実習生対策	①高 ②中 ③低 ④分からない		
12	障害者である労働者対策	①高 ②中 ③低 ④分からない		
13	疾病を抱える労働者の健康確保対策	①高 ②中 ③低 ④分からない		
14	化学物質等による健康障害防止対策	①高 ②中 ③低 ④分からない		
15	石綿による健康障害防止対策	①高 ②中 ③低 ④分からない		
16	受動喫煙防止対策	①高 ②中 ③低 ④分からない		
17	粉じん障害防止対策	①高 ②中 ③低 ④分からない		
18	労働安全衛生マネジメントシステムの活用	①高 ②中 ③低 ④分からない		
19	安全衛生管理組織の強化及び人材育成の推進	①高 ②中 ③低 ④分からない		
VI	その他、衛生管理者としてお困りのことがありましたらお聞かせください。(例: 情報交換の機会、一次予防活動についてなど)			

ご協力ありがとうございました。